

世界防災フォーラム / 防災ダボス会議@仙台 2019

趣 意 書

World BOSAI Forum

Spin disaster knowledge to
Weave BOSAI wisdom

2nd **Nov.9-12, 2019**
IDRC 2019 in SENDAI JAPAN

Venue | Sendai International Center/
Kawauchi Hagi Hall, Tohoku University

***BOSAI** is a traditional Japanese term, indicating a holistic approach to reduce human and economic losses from disasters, which represents activities in all disaster phases, including prevention, recovery, response and mitigation.*

www.worldbosaiforum.com

World Bosai Forum Secretariat

■ 趣旨 ■

2015年3月、国連防災世界会議が仙台で開催され、世界の防災に関わる取り組みの指針である仙台防災枠組が策定されるとともに、世界の防災関係者が今後の防災について議論しました。

仙台防災枠組では、防災投資の重要性やより良い復興などの日本の推進する考え方も多く取り入れられ、今後、仙台防災枠組の実施を推進することは、防災分野で世界をリードしてきた日本にとっての責務とも言えます。また、2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災から復興への過程における日本・東北の活動には世界から強い関心が寄せられています。

防災に関する国際会議は、国連が中心のものから、学術的な会議など世界各地で多様なイベントが実施されています。一方で、国連や学術が中心となった会議はコンセプトの議論に終了することも多く、災害による被害を減らす具体的な解決策に着目し、情報共有や議論を行うことのできる国際的な場はありませんでした。

そこで、第1回世界防災フォーラム(2017)では、東北大学や仙台市が中心となり、多様な関係者(国連、国際機関、政府、民間企業、メディア、NGO・市民団体、大学・研究所)が一同に介し、災害を減らす具体的な解決策を持ち寄り、共有、議論し、また新たな連携や活動の始まる場所となるようなフィールドづくりを進めて参りました。

第2回世界防災フォーラム(2019)では、仙台防災枠組2015-2030におけるグローバルターゲットE(2020年までに国家・地方の防災戦略を有する国家数を大幅に増やす)の達成のために、よりよい復興とは何か、心の復興とは何か、また、近年深刻化する気候変動による災害にどのように対処していけばよいか、さらに、AIやIoT技術などの先進技術の防災への応用・試み等、魅力的なコンテンツを発信していきたいと考えております。

日本は世界でも有数の災害が頻発する国であり、災害に備え、被害を減らし、災害に遭ったあとは立ち直るために、ハードなインフラ対策、ソフトな制度的な枠組の構築のみならず、被災者のところに寄り添った支援、文化としての災害の伝承など多くの知見と解決策を有しており、世界の防災をリードしていく使命があります。

「世界防災フォーラム」が、多くの知恵を集約し、新たな連携を形作りながら社会に実装していくためには、多様な関係される皆様方からのアイデアやリーダーシップが不可欠です。本フォーラムを魅力的で実りのあるものとするために、多くの方々のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2019年5月吉日
(一財)世界防災フォーラム 事務局

■ 開催概要 ■

- 開催日程 2019年11月9日(土)～12日(火)
- 会場 仙台国際センター会議棟/東北大学 萩ホール
- 主催 世界防災フォーラム国内実行委員会、世界防災フォーラム国際実行委員会
(事務局:東北大学災害科学国際研究所内 (一財)世界防災フォーラム)
- 後援 政府・国連等
- 協賛 民間企業等
- 想定参加者 登録者・関係者等 1000名程度(研究機関、国際機関、政府機関、企業、
団体、NGO等の国内外の防災に関する専門家等)、他一般来場者(市民等)

※一般来場者(市民等)は無料公開イベントやオープニング、一部の宮城県
や仙台市等によるセッションに参加可能

- タイムテーブル (2019年4月時点での想定案であり変更の可能性あります)

	11月9日(土)	11月10日(日)	11月11日(月)	11月12日(火)
A M		オープニング 会議セッション ポスター発表	会議セッション ポスター発表	会議セッション ポスター発表
P M	前日祭	レセプション		クロージング

- 連携開催 第10回「震災対策技術展」東北、仙台防災未来フォーラム2019

■ プログラム構成 ■

➤ 実施形式

セッションは規模別にプレナリーセッション、パラレルセッション 2 種類となります。

① プレナリーセッション

1000 名規模の会場で実施するセッションです。プレナリーセッション開催中はその他のセッションは実施しないものとし、参加登録者全員が参加することを想定します。

1 枠あたりの時間は 90 分を予定しています。

日程を通じて 5 枠程度実施予定です。

② パラレルセッション

50～200 名規模の会場で実施するセッションです。本フォーラムの趣旨に沿うテーマのセッションを同時並行に実施する予定です。

1 枠あたりの時間は 90 分を予定しています。

日程を通じて 50 枠程度実施予定です。

③ ポスター発表

テーマに沿ってポスターを募集し、合計 100 演題程度を会場内に掲示することを想定しています。ポスター賞も設ける予定です。

④ ミニプレゼンテーション

セッションの主催までは希望しないが、活動を発表したい方向けに、会場内にて 15 分程度の短時間のプレゼンテーションを行って頂く区画を設置予定です。

30 団体程度の参加予定です。

また、発表の様子を撮影し、後日、世界防災フォーラムの HP 上で公開する予定です。

※本フォーラムへの参加登録者であることが必要です。

⑤ 一般展示

フォーラムに参加する組織や団体の活動を紹介する展示(英語表記予定)。

合計 30 展示程度(それ以上の可能性あり)を想定しています。

※本フォーラムへの参加登録者であることが必要です。

■ 参加登録 ■

➤ 参加登録料

本フォーラムは、産官学民の団体・組織に加え一般市民が自由に参加し、自由な情報発信と議論、関係づくりができる場を目指しており、フォーラムの準備・企画・調整にかかわる費用をフォーラム参加者の参加登録料(およそ 5 万円を想定等)により賄うこととしております。

➤ 登録スケジュール

終了:2019年11月12日12:00

■ セッション主催者として参画 ■

➤ 概要

プレナリーセッション、パラレルセッションでは、事務局で直接企画・運営するものを除き、参加する団体・組織にセッション主催者となつていただき、全体テーマに沿う形で企画(セッションテーマ設定、スピーカー選定 etc.)、準備(スピーカーとの調整、特殊機材の調達 etc.)、運営を実施していただきます。

➤ 費用負担

セッション主催者で、日英の同時通訳システム等を希望する場合は、会場の規模に合わせて実費としてご請求させていただきます。

■ 一般展示への出展 ■

➤ 概要

海外向けに参加団体・組織の取り組みや国際機関等の取り組みを発信するための一般展示企画を検討しています。フォーラムの全体テーマに沿った内容について発表する企画です。国際的なフォーラムとしての展示ですので、言語は英語で統一とします。

また、一般展示は、非営利の展示に限定します。商業ベースの展示は平行して開催予定の民間企業等による産業展示にご出展下さい。

なお、展示にあたり、出展料を徴収させていただきます。

➤ 出展条件

会場	仙台国際センター会議棟内
基本ブース仕様	展示スペース(2m×2m 程度) バックパネル 長机、椅子 団体名看板
基礎ブース施工費	50,000 円(ただし、スポットライト等オプション費用は別途お支払い)

■ フォーラム開催までのスケジュール ■

日程	内容
2019年 6月	セッション枠登録、ポスター発表 情報公開(6月上旬) セッション枠登録、ポスター発表 申込開始(6月中旬) 参加者登録開始(6月中旬)
7月	セッション枠登録、ポスター発表 申込終了(7月19日) 主要なセッションおよび展示企業、招聘者の確定 ポスター審査
8月	暫定プログラム発表
9月	最終プログラム発表(9月上旬)
11月	参加者登録終了(11月12日12:00) 世界防災フォーラム2019等の開催(11/9~12)

以上